



長野県連婦だより

コロナ禍での婦人会活動 長野県連合婦人会会長 中條 智子



コロナ感染症(2020年)が始まって2年4か月となる5月12日(木)、県連婦の定時総会を開催しました。今年度こそはそれぞれの事業が出来ますようにと祈る気持ちで会長さん達と過ごしました。

「ウィミンセミナーながの 2022」は長野市生涯学習センターで、感染対策をしっかりとり、人数も50名に限定した中での開催でしたが、久しぶりの会員の皆さんの笑顔に救われた思いがしました。

①講演「長野市における新型コロナウイルス感染症の発生状況と対策」と題して長野市保健所の小林良清氏よりお話をお聞きしました。

②講演「地域と学校はパートナー」と題して長野県教育委員会 文化財・生涯学習課 生涯学習係 指導主事の楠武明氏よりお話をお聞きしました。

③活動発表として佐久市連合婦人会と上水内連合婦人会より事例発表をしていただきました。

小林良清氏からは医師の立場から、コロナ感染症について丁寧に解りやすくお話いただき(これからどうすべきか)について、人と接触しないことによる活動の制限は、運動不足や交流不足となり、特に子どもたちと高齢者には影響が大きいので、感染リスクが多少あっても人との接触は優先する必要があるというお話でした。

楠武明氏からは「なぜ今、地域と学校との連携が必要なのか」については、○少子高齢化や人口減少社会 ○家庭や学校環境の変化 ○教育課題の多様化・複雑化など、社会の急激な変化によることとです。

この**困難な時代**を生きる子どもたちを育てるためには、**学校職員**や**家庭**の中だけでなく、**地域と協力**していくことが必要であるというお話でした。「信州型コミュニティスクール」についての具体的な例や、学校ボランティアとして子どもたちとの接し方について、他県の例などがあり有意義な学習が出来ました。

8月2日に計画していた「世界をひとつに平和のつどい」は、昨年、一昨年とコロナの感染が拡大し警戒レベルが高くなったことをふまえて、会員の皆さんの健康と安全を第一に考え熟慮のうえ、第60回は延期という決定をさせていただきました。

今年は2月24日のロシアによるウクライナ侵攻で戦争が続いており、7月で5ヵ月になります。ウクライナで起きていることは、私たちが願う(世界の平和)とは逆行することであり、外国で起きていることではなく私たちにも関係することなので、これからの運動について学ぶ良い機会でありました。が、新型コロナウイルス感染症の「第7波」が7月に入り感染者数が急増しました。(開催を予定していた8月2日は長野県において新規感染者数2205人で、8月19日は3649人で過去最多でした)

8月6日、9日は広島と長崎に原子爆弾が投下された日です。終戦77年となります。私はこの両日、「平和記念式典」を特別な思いで真剣にテレビで見ました。式典での子ども代表の「平和への誓い」の中の一部に「本当の強さとは、違いを認め、相手を受け入れること、思いやりの心を持ち、相手を理解しようとすることです。そして、自分も周りの人も大切にし、互いに助け合うこと」が心に残りました。私が毎回平和につどいでお話している「ユネスコ憲章」前文の「戦争は人のこころの中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」と、子ども代表の誓いのことばは、私たちの運動の具体的な方向を示してくれたように思います。

婦人会は「消費者問題」「青少年問題」「環境問題」「婦人問題」「男女共同参画社会の実現」「平和問題」また、現実である少子高齢化社会への対応など、社会教育関係団体として幅広く学習、研修を重ねて活動してきました。しかし時代の推移や会員の高齢化などにより、事業を工夫したり、次の世代が参加しやすいように模索をしている時、新型コロナウイルス感染症の流行です。「不要不急の外出を避ける」ということで、社会的な経済活動や学校・家庭生活にも影響があり、私たちの活動や将来ある子どもたちにも(休校や行事の中止などなど)大きな影響がありました。

コロナ禍での生活は続いていますが、一日一日社会は進歩しています。コロナ禍での経験を生かし、多様化する社会の中を、先の子ども代表のことばのように違いを認め、相手を受け入れ、理解し、思いやりの心を持つという「利地の心」で、これからの共生社会をめざし、いろいろな年代の人達と婦人会活動を推進していければと思います。

あいさつは、コミュニケーションの基本です。まずは子どもたちを元気にし、地域を元気にする「あいさつ運動」を楽しく盛り上げていきたいと思っています。

ウィミンセミナーながの2022

期日 令和4年6月22日(火)
会場 長野市生涯学習センター

講演

演題「長野市における新型コロナウイルス感染症の発生状況と対応」

講師 長野市保健所 小林 良清 氏

とうとう第7波がきてしまいました。長野市の新型コロナウイルス感染症の発生状況をもとに、保健所の体制強化などの取組みの説明がありました。また、株の種類によりその特徴を踏まえ対応を変更しているとのこと。たとえば保健所からの連絡は診療後、自宅療養者には最初と療養終了時の2回だったのを2日に1回にするなど、状況に応じて変更しているなどです。

ワクチン接種の効果が出ているためか、高齢者より若い人の感染者が多くなっている傾向があり、同居家族の発生率が高くなっているそうです。児童施設や学校などの集団的な感性例もあり、対応策も必要であるとのこと。

いつまで続くかわからない現状で、人間側の対応が求められているとのこと。たとえば法改正「2類相当ー結核・ジフテリアなど」から「5類相当ーインフルエンザ・風しんなど」への変更が必要であるといったことです。過去の感染症と同じことを繰り返さず、誹謗中傷、偏見差別をせず、運動不足や交流不足のないようにと強調されました。重症化せず自宅療養が増えるとなると、コロナと共にうまく付き合っていくしかないのでは。自分でできるマスクの着用（屋内、屋外の不必要の区別）、手指・環境の消毒、検査など対策をしっかりとって乗り越えていきたいです。



下伊那郡 寺田 真由美

講演

演題「地域と学校はパートナー」

講師 長野県教育委員会指導主事 楠 武明 氏

ウィミンセミナーながの2022午後の講演では楠武明氏のお話しや佐久市及び飯綱町の活動報告を聞きました。二つの地域の実践では、学校の補助や挨拶運動・ミシンボランティア等を通して学校を支援し、子どもたちの成長を見守っていくというものでした。それぞれ会員相互の理解や協力体制があってこそできることで、そうした基盤が確立している点がすばらしいと思いました。

我が町でも社会教育団体としての活動として、放課後子ども教室のお手伝いを年数回やっていますが、現在はコロナの影響で中断しています。どの連合婦人会の方々も役に立てる機会があれば協力したいと考えていらっしゃると思います。

楠先生は講演の中で、その手がかりとなることを具体的に示してくださいました。学校の現状や連携の必要性、望ましい学校の姿やボランティアの具体例、参加方法や子どもとの接し方等楽しく、考えながら聞くことができました。一番重要なことは学校を理解すること。子どもや保護者、教師の願いは何かを知り、その上でボランティア団体として何ができるかを考えていく必要があります。そして継続して関わっていくことができるかどうかパートナーとなるためには大切だと思いました。

上水内郡信濃町 諏訪戸 裕子

活動発表



佐久市 奥村会長

「学びと学習(学習支援)」について発表



上水内郡 北條会長

「子ども見守り隊」について発表

「2022年世界をひとつに平和のつどい」(延期)

令和4年8月2日(火)須坂市メセナホールで開催を予定しておりました第60回「2022年世界をひとつに平和のつどい」について、感染拡大防止の観点から1年延期を決定しました。

Withコロナの中、来年60回目の大会が無事開催できるよう、この1年をかけて内容や時期を考えていきたいと思っております。



「幸せリボン」上田市へ贈呈

上田市 池田 佐代子

ウクライナの惨状は、本当に心が痛みます。婦人会の基本方針でもある、「国際理解と平和運動への取り組み」まさに、子供を産み、育む。婦人会の一番のテーマです。

「一分、一秒でもこの戦争を終わらせて、父、母、兄弟を助けて!!」テレビからの悲痛な叫びです。

上田市連合婦人会は、会員の皆様の会費から、本当に些細な救援金を送らせていただきました。その折に、「世界平和運動」の啓発になればと、ウクライナの国旗カラーを「幸せのクローバー」に似せて、リボンを作り、救援金と一緒に上田市に送りました。



総会の折に会員の皆さんと胸につけ、一刻も早いウクライナ戦争の終息を祈りたいと思います。

—平和を願って—

明るく 元気なひまわりプロジェクト

北佐久郡 今井 正子

コロナが続き、ロシアがウクライナに侵攻し戦争が始まる中で、「明るく 元気なひまわりで町をいっぱいにしよう」と始めた『ひまわりプロジェクト』。

太陽に向かって一斉に咲くひまわりは、ウクライナの国花でもあり、戦争の終結、平和を祈ってみんなで種を蒔くことにしました。

荒廃畑を耕し、草を刈る男性の多いプロジェクトに私たち婦人会が加わり、保育園・小中学校の全生徒に種を配り、家の庭や道路沿いを埋めました。

8月20日に一番規模の大きな畑で「観て 描いて 撮って ひまわりと遊ぼう」と『ひまわりの里 フェスタ』を開催しました。土の上に寝転んで描く子、ひまわりの中で遊ぶ子、親子お絵かき大会もできました。絵は町の文化祭などで展示します。

花が終わり種が熟してから油を搾ります。野生動物が食べないひまわりの花を観光に、又 油で産業や健康にと本来の田舎が戻るのを夢見ています。



加入電話・INSネットの「固定電話」をご利用のお客さま



2024年1月以降、電話を提供するNTT東日本の局内設備を切替いたします。
設備切替後も、お手続き不要で、「固定電話(通話)」およびお客さまがご利用中の電話機などはお使いいただけますので、ご安心ください。

「固定電話の設備切替」等に便乗した虚偽の情報に基づく悪質な販売行為にご注意ください。
お客さま宅内の電話機の交換や回線の切替工事は必要ありません。
NTT東日本 問い合わせセンター
0120-815-511
【受付時間】午前9時～午後5時
※年末年始(12/29～1/3)を除きます。
※携帯電話からもご利用いただけます。※電話番号のおかけ間違いが大変多くなっており、おかけいただく際には十分にご注意くださいますようお願い申し上げます。
K22-01319[2209-2309]



選んで安心なSマーク【標準営業約款制度】

Sマークのお店は、「安全・安心・清潔」をお約束する営業に努めています。

毎年11月は約款普及登録の促進月間です。

あなたのお店も[Sマーク]に登録しませんか!

～公益財団法人 長野県生活衛生営業指導センター～
TEL 026-235-3612 Email naganocenter@seiei.or.jp

全国女性団体連絡協議会 創立70周年記念大会

創立70周年記念大会に参加して

佐久市連合婦人会 柳澤 敬子

コロナ禍の中、輝かしき全国女性団体協議会70周年大会に参加して参りました。小雨に中、渋谷公会堂へ向かいました。中に入ると、ひときわ大きな声で挨拶していらっしゃる女性の方が目立ちました。私が「こんにちは」と言うと大きな声で「よくお越しくださいました」と返していただきました。最初はわからなかったのですが、パンフレットを見てわかりました。桜井会長でした。写真は少し前の写真でしたが、今もおきれいな女性でした。会議の中では、筑波大学学長と山海教授の特別対談でした。教育を受けている人と受けていない人では受けている人の方が人生が楽しくなる事が多く、教育の効果は多大。たくさん学んでください。とのことでした。そして人生大切なことは健康。癌は早期発見で必ず治る。健康診断を受けること。見つければすぐ処置することで治りますとのことでした。そして健康未来社会を実現する。家に居ながらにして病院に情報が届いて管理されるなど、研究している等のお話しをして下さいました。途中、安倍晋三元総理をお迎えしてお祝いのお言葉も頂戴しました。特別コンサートは今活躍している若手歌手の歌とトークで盛り上がり盛大に70周年女性団体協議会は終了しました。久々に感動したこの大会に参加し、70年の活動の歴史に感銘し、これから又微力ながらもお手伝いできる喜びを感じました。地域の為、会員の皆様と活動して参りたいと思います。本日はありがとうございました。



関東ブロック会議

開催日：2022年11月30日(水)

場所：さいたま市

ホテルブリランテ武蔵野

2021年度 メディアで紹介された婦人会の活動

岡谷市

講師を迎え、食と健康について学んだ様子が新聞に掲載されました。

健康寿命は食が肝心
市連婦が研修会

岡谷市連合婦人会（瀧澤幸子会長）はこのほど、食と健康に関する研修会を開いた。会員13人が参加。市健康推進課の管理栄養士、赤羽恵実主幹を講師に、自分や家族の健康維持、増進に役立つ



手軽な温泉卵の作り方を実演した市連婦の方が良いと思われ、根付いてしまっている。高齢になっても、高血圧の量が少なくていい。

学びを深めた。赤羽さんは「女と男が支え合い、明るく元気な暮らし、食と健康から」と題し、生活習慣病予防のため、減塩や野菜摂取量の増加の取り組み、バランスの良い食事を心掛けることの重要性を解説。野菜をたくさん食べることは、低栄養状態の人が多い」と説明した。

「スマイル」を学べた。瀧澤会長は「健康寿命と平均寿命には大きな差がある。人生100年時代といわれる今、健康に長く生きるため、今後の生活に役立つことを学べた」と話していた。

カルチャーセンターにて

上田市

市連婦・上田署共催で「特殊詐欺防止」のビデオを制作。三役員も出演されました。

丸子テレビで放映されました。



令和4年度 一般社団法人長野県連婦役員・都市市長

下飯諷岡北佐上千上須郡	伊田訪谷佐久市曲水内坂市	那市郡市市市市市	郡市市長	監事	副会長	会長	県連婦役員
寺森武瀧今奥池森北竹	田本居澤井村田川條前	眞美洋幸正繁佐敬兌美	由保子子子子子子	一ケイ	繁和智	子子子	